

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)

【公開番号】特開 2013-107029 (P2013-107029A)
 【公開日】平成 25 年 6 月 6 日 (2013.6.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-028
 【出願番号】特願 2011-252938 (P2011-252938)
 【国際特許分類】

B 0 5 D 5/00 (2006.01)
B 0 5 D 1/36 (2006.01)
B 0 5 D 1/26 (2006.01)
H 0 5 K 7/20 (2006.01)
B 3 2 B 7/02 (2006.01)
B 0 5 C 9/06 (2006.01)

【 F I 】

B 0 5 D 5/00 Z
 B 0 5 D 1/36 B
 B 0 5 D 1/26 Z
 H 0 5 K 7/20 A
 B 3 2 B 7/02 1 0 5
 B 0 5 C 9/06

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 6 月 3 日 (2014.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 8】

前記第 1 の材料層及び前記第 2 の材料層を含む前記複数の層を積層形成する際に、先に形成された層の乾燥の程度を測定する測定工程を備え、

前記半乾燥工程は、前記測定された乾燥の程度に基づいて半乾燥させる請求項 1 5 又は 1 7 に記載の熱放射膜の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 3】

前記相対移動の向きを 9 0 度 変更する描画方向変更手段を備え、

前記移動手段による相対移動時に前記基材上にインクを吐出させた後、前記描画方向変更手段により、前記相対移動の向きを 9 0 度 変更してから再び前記移動手段による相対移動時に当該基材上にインクを吐出させる請求項 2 2 に記載の熱放射膜の製造装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 8 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 2 8 6 】

かかる態様によれば、先に形成された層と後に形成された層との密着性が強化される。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 2 8 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 2 8 9 】

（ 第 1 8 態様 ）：第 1 5 態様又は第 1 7 態様に記載の熱放射膜の製造方法において、前記第 1 の材料層及び前記第 2 の材料層を含む前記複数の層を積層形成する際に、先に形成された層の乾燥の程度を測定する測定工程を備え、前記半乾燥工程は、前記測定された乾燥の程度に基づいて半乾燥させる構成とすることができる。

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 2 9 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 2 9 9 】

（ 第 2 3 態様 ）：第 2 2 態様に記載の熱放射膜の製造装置において、前記相対移動の向きを9 0 度変更する描画方向変更手段を備え、前記移動手段による相対移動時に前記基材上にインクを吐出させた後、前記描画方向変更手段により、前記相対移動の向きを9 0 度変更してから再び前記移動手段による相対移動時に当該基材上にインクを吐出させる構成とすることができる。